

令和 5 年度

自己評価報告書

令和 6 年 6 月 11 日
自己評価委員会

1. 教育理念・目的・育成人材像

評価項目	評価
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	5
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	5
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	5
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	5

- ・育成人材像は明確に定められており、本校の教育理念、建学の精神に沿って学校 HP や入学案内パンフレットなどを通して、美容を希望する学生・保護者等に周知している。
- ・本校の育成人材像は明確に定められている。また、時代に合わせ美容業界が求める人材ニーズも適宜、情報収集している。
- ・教育理念、建学の精神に基づいた特色ある教育活動に取り組んでいる。
美容師国家資格の取得だけに留まらず、将来を見据えた幅広い美容教育、美容の価値を高め、可能性を広げていくことが出来る担い手の育成に取り組んでいる。

2. 学校運営

評価項目	評価
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	5
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	5
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	5
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	4
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	5
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	5
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	5

- ・毎年、運営会議等で内容を検討し、必要なところは見直し、教育理念等に沿った学校運営方針を取りまとめ、教職員への周知の徹底を行っている。
- ・本校の教育理念、建学の精神をもとに「事業計画」を定めている。事業内容に応じて予算を配分し、事業やプロジェクトごとの執行・進捗状況についても各会議にて周知している。また、必要に応じて適宜見直しを行っている。
- ・学校運営のための組織は各部署の役割分担が明確になされており機能的に編成されている。
運営のための規則・規程類の整備や意思決定システム、情報システム化も適切に行われている。

3. 教育活動

評価項目	評価
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	5
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	5
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	5
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	5
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	4
3-9-4 授業評価を実施しているか	5
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	5
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	5
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	5
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	5

3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	5
3-12-2 教員の資質向上への取り組みを行っているか	5
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	4

- ・カリキュラム編成方針は運営マニュアルにて定めている。毎年、前年度のカリキュラムの見直しと検討を行いトータル的に美容が学べるよう改善している。
- ・学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明示し、学内において技術毎に認定試験の合格基準を明確に設けている。専門課程専門科、通信課程通信科においては「美容師国家資格」取得が、専門課程総合美容科においては「国際ライセンス」の取得が教育到達レベルの一つとしている。国家試験、各種美容関連の検定試験等の全員合格を目指し取得に向けて指導体制と学びの場を整えている。
- ・教育理念、建学の精神を核として、美容業界で求められる人材像を踏まえた上で、カリキュラム編成体制、に基づいて教育課程を編成している。カリキュラム編成にあたっては、美容師法にて定められている必修科目ごとの時間数を満たすように設定し、選択必修科目においては、実践力を育むよう適切に授業時間を配分している。
- ・コンテストの審査員を美容業界の方に依頼して講評をいただくなど、外部からの意見及び評価は積極的に収集し、教員間で共有している。就職先のサロンからの本校卒業生に対する意見及び評価は就職担当の教員が収集し、教員間で共有化している。これらの意見も踏まえながら、教育課程を編成している。
- ・キャリア教育の一環として、様々なスキルが習得できる、学びの講座を設定している。
- ・各課程・学科ともに1年間の修了時には学生からヒアリングを行い、課外授業など希望者のみが受講するコースについても同様にヒアリングを行い情報収集している。その中からカリキュラムや授業内容に対する意見を収集している。
- ・成績評価の基準については学則等に明確に規定し、教員間で情報を共有し、基準を統一している。
また、実技認定試験の採点については複数の教員が採点するなどの方法により、客観性・統一性の確保に取り組んでいる。
- ・毎年、作品及び技術等の発表における成果を把握し、写真とともに記録に残している。その一部は本校HPや同窓会機関紙にて情報を公開している。
- ・美容師国家試験の不合格者については、卒業後も受験科が受験対策講座を開催し、手厚いサポート体制を整備している。
- ・本校の提供するカリキュラム・授業運営に適した能力・資質を持つ教員・講師を十分に確保している。
教員の資質向上に向け、毎年計画をたて研修をしている。また、コンテストやセミナー等への参加や資格取得などは年間を通して推奨しており自己啓発を支援している。

4. 学修成果

評価項目	評価
4-13-1 就職率の向上が図られているか	5
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	4
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	4

- ・就職サポートは学生の主体性を大切に学生一人ひとりのニーズを的確に捉えた上で、クラス担任と就職相談室の担当者により1年次から行っている。就職活動における心構えや活動方法等を「就職ガイダンス」で伝えるとともに、サロンと連携し「就職説明会」も毎年開催し、就職活動を支援している。
- ・美容師国家資格の取得は100%を目標とし、通常の授業に加えて、受験対策講座を開講している。
合格実績、合格率については受験科にて全国水準及び都内の美容専門学校との比較を行っており、より高い合格率を目指して、毎年、指導方法のレベルアップに取り組んでいる。
- ・卒業生の社会的評価は、就職先のサロンや母校を訪問する卒業生からの近況報告による情報が主な情報源となっている。

5. 学生支援

評価項目	評価
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	5
5-17-1 退学率の低減が図られているか	4
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	5
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	5
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	5
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	5
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	4
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	5
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	5
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	5
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	5

- ・進路相談室を中心に就職支援のための組織体制は整備されている。求人情報は学生たちがいつでも閲覧できるようにしており、学生の就職相談にはクラス担任と就職担当のダブル体制でサポートしている。
- ・学生相談に関する体制は日々の指導にあたるクラス担任、就職担当者等、日美相談室、学生支援室など状況や内容に応じて学生の相談に応じられる体制となっている。
- ・留学生に関しては、入学前は事務局の担当者が対応し、入学後は他の学生と同様にクラス担任が相談等に応じている。
- ・学生の経済的側面に対する支援としては、修学支援の機関校として日本学生支援機構の奨学金や民間金融機関の学資ローン借入の窓口を行っている。
- ・毎年、学生の健康診断やインフルエンザの予防接種等を実施している。必要に応じて、校医に相談できる体制を整えている。健康に関しては学内の衛生管理者を中心に学生全体への啓発活動を行っている。
- ・美容の学びに安心して向き合えるために、住まいなどは学校提携の学生寮として専門の業者と連携している。また、社会人経験者の方などに向けて、本校では専門課程昼間部・夜間部・通信科(従事者コース)については「教育訓練給付金制度」が活用でき、間接的に就学支援を行っている。
- ・美容技術を学ぶ課外授業を設置しより高い専門的な技術を学ぶ場を設けている。また、学校代表として学生が外部のコンテストに参加する場合の指導・支援体制は充実しており技術指導はもちろんのこと、コンテストへの引率等の支援も行っている。
- ・保護者に対しては、入学後及び進級後に「年間行事予定」のお知らせを送付し、学校の行事等について連絡している、HPでも特設ページを設けて情報提供を行っている。加えて、個別の学校行事についても見学のご案内を行っている。
- ・同窓会を組織しており、学校を活動拠点としている。主な活動内容としては年に数回、同窓会機関紙を発行し情報提供を行っている。
- ・今年度、「日本パーソナルカラー協会」「一般社団法人ジャパン・ビューティーマソッド協会」「一般社団法人 日本メイクアップ連盟」に加入し今後は希望者へ検定の案内を行っていく。本校には、「日本ヘアデザイン協会 (NHDK)」や「NB ユーゲント」「全日本婚礼美容家協会」「日本エステティック協会」「日本エステティック業協会」「日本ネイリスト協会」などに所属している教職員がおり、関連業界と連携・協力しながら美容業界の発展に寄与する様々な活動を行っている。これらの活動を通して学んだ美容の知識・技術等は在校の授業に活かされ、卒業後の再教育プログラムにも活用している。

6. 教育環境

評価項目	評価
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	5
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	5
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	5

- ・美容教育の必要性に十分対応した施設・設備・機器類等を整備している。今年度は、大規模修繕を行い学びに適した校内環境の維持に努めている。また、美容室ではバックシャンプー台の普及が進んでいるので、今年度は、バックシャンプー台を増設し、時代に合わせた施設の改善を行った。
- ・学外実習として、専門科では美容のトレーニングサロンを併設し、管理美容師の元でサロン実習の授業を実施している。総合美容科は校外の方々を学校に招き美容の施術を行う「コミュニティキャンパス」を実施しており両方の科ともに、実践的な学びの場となり貴重な体験となっている。
- ・防災に対する組織体制は整備され、適切に運用されている。毎年、教職員・学生対象の防災訓練を行い、事務局には防火・防災管理者の資格を保有している者を配置している。また、災害時にどのような対応を取れば良いのかが分かる「マニュアル」も毎年、更新し整備している。

7. 学生の募集と受け入れ

評価項目	評定
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	5
7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	5
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	5
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	5
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	5
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	5

- ・高等学校等で開催される進学ガイダンス、説明会に積極的に参加することで、本校の教育方針やカリキュラム等の情報提供を行っている。また、高等学校の教職員に対する説明会にも毎年参加し、本校への理解を深めていただいている。
- ・専門科に新設した「クリエイティブヘアデザインコース」と「クリエイティブヘアメイクアップコース」では、美容師として明確な目標をもって入学を希望する学生にとって、選択肢を広げた。
- ・体験入学は土日を中心に年間通して行っている。各科のオリエンテーションは平日、昼間部、夜間部、通信科の授業見学ができるようにしており、随時個別相談会も開催している。各イベントの実施内容は各学科の特徴、美容の魅力を伝えられるように毎年、工夫を凝らし新しい内容にしている。
- ・入学を希望する方々に入試等については、適切な時期に受付・入試を行っている。入学選考基準・方法については文書化し、毎年入試前には選考基準等について確認し共有することで適切に運用している。各学科の合否判定は「合否判定会議」によって決定する。
- ・入学選考に関する実績は学科毎の合格率・入学辞退率のデータを適切に管理している。
また入学選考時に知り得た入学者の傾向、情報は広報課にて把握し、各期の教員が連携してクラス運営や指導方法に活用している。
- ・学納金は、美容教育を行う上で必要となる教育関連の経費、施設管理費等を賄い、良い学習環境を整えるための将来の投資金額を加味して設定している。学納金の見直しの検討はカリキュラムの変更や教材価格の値上げなど事業環境の変化に対応し、随時検討・改善を行っている。
- ・入学辞退者に対しては、授業料等の納入金を返還している。募集要項にも明示し適切に取り扱っている。

8. 財務

評価項目	評定
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	5
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	5
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	5
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	5
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	5

- ・経営指標等を活用した財務分析は必要に応じて行っている。
- ・予算は事業計画との整合性を図って編成しており、単年度予算、中期計画を策定している。
- ・予算の執行状況は把握しており、予算超過が見込まれる場合には補正予算を組んでいる。
- ・本校では監査法人による財務監査を実施しており、監査報告書は理事会等で報告している。

9. 法令等の遵守

評価項目	評価
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	5
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	5
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	5
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	5
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	5
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	5
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	5

- ・関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行っている。所轄官庁への諸届出は事務局担当者が適切に対応している。
- ・個人情報管理について、個人情報を適切に取り扱うことについての教職員の意識は高く、適切に運用されている。
- ・自己評価に関わる評価項目等を整備し、項目に従い毎年自己評価を行っている。自己評価委員会を中心に「自己評価報告書」をまとめている。また、学校関係者評価委員会を毎年、数回開催し、「学校関係者評価委員会報告書」としてまとめ、教職員と共有して学校運営の改善に取り組んでいる。毎年、「自己評価報告書」「学校関係者評価報告書」を取りまとめ、公式HPにて公表している。
- ・学校の特色、建学の理念、カリキュラムの内容などは「学校案内」及び公式HP、SNS等を通じて積極的に情報を公開している。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	5
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	5
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4

- ・毎年、地域の方を招待して美容の施術を行うイベントを開催し、美容に関する知識・テクニックを教授している。
- ・本校では、設立の早い時期から諸外国の美容技術・文化の紹介に努めると同時に、国外で様々な研修・指導セミナーを行ってきた。その他、アジア各国の美容師のために短期研修も開催しており、今年度は中国より10名ほどの美容師が本校を訪れ、まつ毛エクステやネイルの衛生管理者講習会や美容セミナーを開催した。
- ・ボランティア活動など社会活動に学生が自主的に参加することを認めている。本校のカリキュラムにおいてもボランティアや奉仕の精神を育み、美容がもたらす精神的なケアについても学んでいる。

令和 5 年度

学校関係者評価報告書

令和 6 年 6 月 11 日

日本美容専門学校

学校関係者評価委員会

1. 教育理念・目的・育成人材像

自己評価	学校関係者評価
・本校の育成人材像は明確に定められている。また、時代に合わせ美容業界が求める人材ニーズも適宜、情報収集している。	・クリエイティブで多彩なカリキュラムと明確な教育方針が浸透した美容教育を実施していると思う。今後も進歩していった欲しい。

2. 学校運営

自己評価	学校関係者評価
・本校の教育理念、建学の精神をもとに「事業計画」を定めている。事業内容に応じて予算を配分し、事業やプロジェクトごとの執行・進捗状況についても各会議にて周知している。また、必要に応じて適宜見直しを行っている。	・社会の急激な変化の中、今後も安定した学校運営のため、見直しと改善を積極的に行って欲しい。

3. 教育活動

自己評価	学校関係者評価
・カリキュラム編成方針は運営マニュアルにて定めている。毎年、前年度のカリキュラムの見直しと検討を行いトータル的に美容が学べるよう改善している。 ・卒業後も受験科が受験対策講座を開催し、手厚いサポート体制を整備している。	・評価項目に関しては十分に取り組んでいると認識している。 ・在籍時はもとより、卒業後も個別に資格取得等に向けてフォローアップしていることは継続して欲しい。

4. 学修成果

自己評価	学校関係者評価
・サロンと連携し「就職説明会」も毎年開催し、就職活動を支援している。 ・美容師国家資格の取得は100%を目標とし、通常の授業に加えて、受験対策講座を開講している。 ・合格実績、合格率については、全国水準及び都内の美容専門学校との比較を行っており、より高い合格率を目指して、毎年、指導方法のレベルアップに取り組んでいる。	・将来の夢や目標の実現に向けた、就職支援が離職率の低減につながるのではないと思う。 就職したその先を見据えた支援を望む。 ・教育理念、建学の精神に基づく美容教育の成果として、就職先の卒業生の活躍が成果の到達だと考えると成果を発揮していると思う。就職後の情報を収集し今後役に立て欲しい。 ・資格取得や国際試験合格に向けて、今後も手厚い支援を望む。

5. 学生支援

自己評価	学校関係者評価
・学生相談に関する体制は日々の指導にあたるクラス担任、就職担当者等、日美相談室、学生支援室など状況や内容に応じて学生の相談に応じられる体制となっている。	・技術と生活面でのサポートは充実していると思うが、実際には技術力、精神的成長との両立は非常に難しい側面もある場合が多い。学校支援として様々な方法を検討し、向上を望む。

6. 教育環境

自己評価	学校関係者評価
・美容教育の必要性に十分対応した施設・設備・機器類等を整備している。今年度は、大規模修繕を行い学びに適した校内環境の維持に努めている。また、美容室ではバックシャンプー台の普及が進んでいるので、今年度は、バックシャンプー台を増設し、時代に合わせた施設の改善を行った。	・充実した設備・施設を整えられている。教育環境を整っているという事は、学生にとって安心して学べる環境であると再認識した。

7. 学生の募集と受け入れ

自己評価	学校関係者評価
・専門科に新設した「クリエイティブヘアデザインコース」と「クリエイティブメイクアップコース」では、美容師として明確な目標をもって入学を希望する学生にとって、選択肢を広げた。	・美容を学びたいと考えている希望者のひとりひとりに寄り添い、様々なニーズ・学生の背景にも柔軟な対応で入学をサポートする体制が整っている。

8. 財務

自己評価	学校関係者評価
・経営指標等を活用した財務分析は必要に応じて行っている。	・財務に関しては、特に問題ないと認識している。

9. 法令等の遵守

自己評価	学校関係者評価
・関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行っている。 所轄官庁への諸届出は事務局担当者が適切に対応している。 ・個人情報管理について、個人情報を適切に取り扱うことについての教職員の意識は高く、適切に運用されている。	・教職員ともに情報管理、個人情報管理など適切に取り扱っている点、独自のルールを作成し法令遵守を徹底していることは、今後も継続して欲しい。

10. 社会貢献・地域貢献

自己評価	学校関係者評価
・本校では、設立の早い時期から諸外国の美容技術・文化の紹介に努めると同時に、国外で様々な研修・指導セミナーを行ってきた。その他、アジア各国の美容師のために短期研修も開催しており、今年度は中国より 10 名ほどの美容師が本校を訪れ、まつ毛エクステやネイルの衛生管理者講習会や美容セミナーを開催した。	・国際交流も盛んな日美ならではの柔軟性のある方法でグローバルな活動を今後も継続を望む。